

平成30年 網走市議会
平成 29 年 度 各 会 計 決 算 審 査 特 別 委 員 会 会 議 録
第 6 号 平成30年10月19日（金曜日）

○日時 平成30年10月19日 午前10時00分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 認定第1号 平成29年度網走市各会計歳入歳出決算について
2. 認定第2号 平成29年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算について
3. その他

○出席委員（8名）

委 員 長	平 賀 貴 幸
副 委 員 長	井 戸 達 也
委 員	金 兵 智 則
	川原田 英 世
	近 藤 憲 治
	田 島 央 一
	永 本 浩 子
	古 都 宣 裕

○欠席委員（0名）

○委員外議員（1名）

副 議 長	渡 部 眞 美
-------	---------

○傍聴議員（1名）

松 浦 敏 司

○事務局職員

事 務 局 長	大 島 昌 之
事 務 局 次 長	細 川 英 司
総務議事係長	高 畑 公 朋
総務議事係主査	寺 尾 昌 樹
総 務 議 事 係	早 渕 由 樹

午前10時00分開議

○平賀貴幸委員長 おはようございます。

本日の出席議員は8名で、全委員が出席しております。

ただいまから平成29年度各会計決算審査特別委員会を開会いたします。

本日の審査日程は、認定第1号平成29年度網走市各会計歳入歳出決算について及び認定第2号平

成29年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算についての取りまとめを行います。

初めに、認定第1号について、各委員から賛否と総括的な意見について発言していただきます。

なお、前年度は附帯意見をつけることなく結審いたしました。この附帯意見を付すか否かについてもあわせて発言願います。

○川原田英世委員 まず、決算について、これまで議論を重ねてきたわけですが、附帯意見を付せることなく認定ということで承認すべきものかというふうに思っています。

しかしながら、一部私が質問させていただいた中で、やはり住民サービスについて、申請を受けて、そして向こうからの申し出があって初めてサービスが提供されるということ、また、情報提供も紙面等での一方的なものに限られているというような答弁がありました。やはりその点については積極的な取り組みを進めて、さらに住民サービスの向上をされるように努めていただきたい、そういった必要があるのだというふうに思いますので、その点、委員長報告等でつけ加えていただいてというふうに考えています。

以上です。

○田島央一委員 認定第1号平成29年度網走市各会計歳入歳出決算についてですが、基本的には認定の方向で附帯意見を付さないでということと考えております。

基本的にはやはり、例年言われているのですが、収納率の向上に取り組むということで数字を見ても改善はしてきているところはあるのですが、周辺環境を見ると、ふるさと納税で税収がある程度集まってきている部分があるのですが、国の動向や道内の各自治体だとか全国の各自治体の動きも含めて変動があったり、そこだけ確たるものという状況ではなくてきているので、基本に立ち戻るとやっぱり収納率の向上をしっかり取り組む必要があるのかなと思っております。その点だけ申し述べて、認定ということで考えております。

以上です。

○金兵智則委員 認定第1号につきましては、附帯意見を付すことなく認定したいというふうに思

います。

一般会計につきましては、黒字決算ということで一定の評価はしてもいいのかなというふうに思います。

ただ、まだまだ財政的には厳しい状況が続くということがありますので、その中で事業を進めていくに当たって、今のPDCAサイクルというのをもとに事業を進めていっているというふうに思うのですが、事業の精査、検証についてやろうとしている事業もありました。限られた予算の中で事業を工夫されているという事業も見受けられましたが、まだまだ検証が不十分であると。特に継続的な事業につきましては、検証が不足しているのではないかなと。もうちょっと事業の検証、そして精査を進めていっていただきたいと。

あとは、総合戦略の中でKPIというのも設定しています。決算ですので、やはりその目標数値KPIに向かってきちんとした精査をしていただきたいということを申し添えさせていただきたいというふうに思います。

それと、特別会計につきましては、例年議論が上がっております網走漁港、能取漁港につきましても、少しずつですが赤字の改善に進んできているのかなということは評価できるのかなと思いますが、こちらはまだまだ厳しい状況でありますので、全庁的な取り組みを進めていただきたいというふうに思います。

以上です。

○近藤憲治委員 認定第1号につきましては、附帯意見を付すことなく認定と考えております。

厳しい財源の中で、また限られた財源の中で、いろいろと工夫をしながら各種事業を遂行しているということが決算議論を通じて理解を深めることができたというふうに考えております。

またあわせて、特別会計についてでありますけれども、網走港整備と能取漁港整備、かなり厳しい状況から少しずつ好転の兆しが見えてきてはいるものの、まだまだいろいろ手を打っていかねばならない状況にあるというふうには考えておりますが、おおむね認定ということで問題ないというふうに考えております。

以上でございます。

○永本浩子委員 公明クラブといたしましても、附帯意見をつけることなく認定したいと思っております。

一般会計においても、前年度よりは若干ではあ

りますけれども収支額がふえた形での黒字決算となっておりますし、特別会計におきましては、やはり赤字決算とはなっておりますけれども、前年に比べると2億6,342万2,000円の赤字額が解消されている。そしてまた、市債状況も厳しい状況ではありますけれども、5億6,426万3,000円が減少したということは大きいものと思っております。全般的に財政状況に対しては、各課が努力していただいた結果だと評価したいと思います。

また、市税収入も収入率が94.4%ということで、前年度92.5%だったのに対して、少しまた収入率も上がっているということで、さまざまな角度で徴収の技術の向上を図っていたりとか、また網走の課題であった周知の仕方というところについても、少しずつ工夫をしながら取り組んでくださっているということがわかりました。

また、不登校問題に関しても、今まで相談してくる方に対して相談を受けるというところから、学校と一緒に協調しながら、こちら側からのアクションも起こしている点とか、さまざまな点で改善が見られたのではないかと考えております。

ただやはり、二、三の事業については、根本から見直すべきものも幾つかあるかなという点は感じております。

また、数字の把握という部分でも少し甘い部分があるかなとは思いましたので、そういったところは今後気をつけて努力していただきたいということで、全体的には認定ということでいいかと思っております。

以上です。

○古都宣裕委員 一般会計、また特別会計については、附帯意見を付すことなく認定の方向で考えております。

ただ、一般会計においては、予算の効率化のために膨大な資料等はいただいておりますけれども、今回また近年、誤記載や、また資料の中の丁寧さが少し足りないなという部分が見受けられました。

あと、特別会計の中で、網走漁港、能取漁港は負の遺産として網走の会計の足を引っ張っている部分はあるのですが、改善の努力の跡が見られるということで認定の方向で考えております。

以上です。

○井戸達也副委員長 皆さんから一通り御意見をいただきましたけれども、全体通して収入率も上

がっていると。そして、収入未済額も減と。未納対策の強化の成果があらわれてきているのだなというふうに見ております。

財政指標等の推移から見ても、一定の効果を上げて改善傾向にあるというふうに感じております。

諸施策事業の実施についても、限られた財源のもとに総体的にほぼ順当に執行されているということが確認できましたので、認定をし、附帯意見は付さないという形をとりたいと思います。

以上です。

○平賀貴幸委員長 それでは次に、認定第2号について、各委員から賛否と総括的な意見について、発言していただきます。

なお、水道決算につきましても、前年度は附帯意見をつけることなく結審をいたしました。この附帯意見を付すか否かについてもあわせて発言願います。

○川原田英世委員 特段、問題点等なかったかと思しますので、認定し、また附帯意見は不要ではないかというふうに思います。

以上です。

○田島央一委員 認定第2号平成29年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算についてですが、附帯意見を付すことなく認定ということで考えております。

ただ、給水人口の減少だとか節水意識の高まりで、水の需要がこれから大きくふえるということは見通せない中で、また取り組みをしっかりと進めていただいて、導水管の布設がえだとか、今後控えているものもありますので、市としての会計的なところの数字も改善するように取り組みを進めているのかなと思って一定の評価をしているところでもあります。

以上です。

○金兵智則委員 認定第2号ですけれども、私も附帯意見を付すことなく認定したいというふうに思います。

今お話もありましたけれども、人口減少並びに節水意識の高まりから給水量が減ってきているという中で、もちろん収益が減ってきているという状況でありましたけれども、費用のほうも削減に努められているというのが見受けられたのかなというふうに思います。

ただ今後、導水管の更新なども始まってくるかというふうに思いますけれども、その事業を進め

ていくときには市民の理解を得ながら進めていていただきたいというふうに思っております。

以上です。

○近藤憲治委員 認定第2号につきましては、附帯意見を付すことなく、認定と考えております。

計画的な導水管の更新も進められておりますし、漏水、断水の防止にも努められているということが見てとれましたので、認定第2号については、認定でよろしいかと考えております。

以上です。

○永本浩子委員 公明クラブといたしましても、認定第2号は附帯意見をつけずに認定したいと思っております。

本当に、給水人口がこれからさらに減っていくということが予想されますけれども、計画的な布設工事を着実に実行をしながら、これからも堅実な運営をしていっていただきたいと思いますと思っております。

○古都宣裕委員 水道事業特別会計等については、附帯意見を付すことなく認定すべきと考えております。

さきの停電のときでも湧き水を引っ張っていることから、災害にも強くライフラインである水がとまらなかったということを大きく評価した上で、しっかりと進めていただきたいと思いますと思っております。

以上です。

○井戸達也副委員長 大体皆さんから出された意見とほぼ同じになりますけれども、これからも給水人口の減、そして導水管の更新、こういった課題もありますけれども、現在においては安定した経営がなされているということが確認できましたので、附帯意見を付すことなく認定したいと思います。

以上です。

○平賀貴幸委員長 以上で、各委員の賛否についての発言を終了いたします。

ここで暫時休憩いたします。

午前10時13分休憩

午前10時25分再開

○平賀貴幸委員長 休憩前に引き続き、再開いたします。

先ほど各委員から、認定第1号及び認定第2号について、賛否と総括的な御意見をいただきました。

ここで、お諮りいたします。

まず、認定第1号平成29年度網走市各会計歳入歳出決算については、全委員の意見として原案認定すべきものということで取りまとめさせていただきたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、認定第1号は全委員の意見として原案認定すべきものと決定いたしました。

また、各委員より認定第1号については、全委員の意見として附帯意見を付さないという発言がありました。

ここで、お諮りいたします。

認定第1号平成29年度網走市各会計歳入歳出決算については、全委員の意見として附帯意見を付さないということで取りまとめさせていただきたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、認定第1号は全委員の意見として附帯意見を付さないことに決定をいたしました。

次に、認定第2号平成29年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算については、全委員の意見として原案認定すべきものということで取りまとめさせていただきたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、認定第2号は全委員の意見として原案可決及び認定すべきものと決定をいたしました。

また、各委員より認定第2号については、全委員の意見として附帯意見を付さないという発言がありました。

ここで、お諮りします。

認定第2号平成29年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算については、全委員の意見として附帯意見を付さないということで取りまとめさせていただきますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、認定第2号は全委員の意見として附帯意見を付さないことに決定をいたしました。

以上をもって、本委員会に付託された案件の審査は全て終了いたしました。閉会することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ここで、私から一言御挨拶を申し上げます。

去る9月4日、平成29年度各会計決算審査特別委員会が設置され、私が委員長に、井戸達也委員が副委員長に選任されましたが、9月定例会会期中に閉会中継続審査の手続を了承いただき、今週月曜日から延べ4日間にわたって審査をいただいたわけでありましたが、この間、委員の皆さんにおかれましては大変熱心に審査をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

それでは、以上で特別委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでございました。

午前10時28分閉会
